

「第4次読書のまち八王子推進計画（素案）」  
意見募集（パブリックコメント）について（結果報告）

令和2年（2020年）3月19日公表

八王子市教育委員会

図書館部南大沢図書館

「第4次読書のまち八王子推進計画（素案）」について、皆様からいただいたご意見を報告するとともに、市の考えを公表します。

## 1 実施概要

### （1）募集期間

令和元年（2019年）12月15日（日曜日）～令和2年（2020年）1月15日（水曜日）

### （2）提出できる方

市内在住・在勤・在学の方、又は市内に事務所・事業所を有する個人及び法人・その他の団体

### （3）閲覧場所

市政資料室、各市民部事務所・市民センター・図書館、市内の市立小・中学校、

市ホームページ、図書館ホームページ

### （4）提出方法

窓口への持ち込み、郵送、ファックス、Eメールのいずれかの方法

## 2 意見の概要

（1）意見の提出者 8名

### （2）提出方法内訳

窓口	郵送	FAX	Eメール	合計
0名	1名	1名	6名	8名

（3）意見の件数 27件

（4）主な意見と市の考え（別紙参照）

## 【主な意見と市の考え】

## ① 基本方針 1 について

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
1	乳幼児	絵本や児童書の充実を。	子どもの読書活動を推進するうえで、魅力ある蔵書の充実が必要であると認識しています。本計画では、親子で楽しめる絵本や児童書の充実を目指していきます。
		19 頁に、「保育園等での読書の充実」を追加すべき。	保育園等の子育て施設の多くでは、読み聞かせ等の活動を行っています。本計画では、図書館と様々な関係団体とつながりを通してサービスを展開します。地域の子育て施設とも連携しながら、読書活動を充実していきます。
2	小・中学生	学校図書館連携事業の中身が不明。	学校図書館連携事業とは、学校図書館司書と図書館司書とが連携し、学級文庫や調べ学習用の資料を図書館から学校図書館へ貸し出すサービスを中心とした事業を指します。 用語解説に説明を加えます。
		「図書コラボ給食」の実施の頭に、「はちおうじ読書の日にあわせた」という文言を追加した方が良い。	「はちおうじ読書の日」に合わせて『図書コラボ給食』を実施することで、より効果的に読書と食への関心を高めることにつながると考えています。また、さまざまな機会をとらえて「図書とコラボした給食提供」に取り組んでまいります。いただいたご意見を参考にさせていただきます。
		多様な学びをサポートできるよう、学校図書館の蔵書を計画的に購入してほしい。	学校図書館では、文部科学省「学校図書館図書標準」や「廃棄基準」に基づき、各学校の裁量の範囲で計画的に整備を進めています。 また、学習に必要な図書資料は検索システムを活用し、公共図書館・学校間の貸出で読書資源の共有化を図っています。

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
2	小・中学生	学校図書館内の清掃について、図書館内の清掃はもとより、換気、定期的な本棚奥までのふき取り清掃が必要。	学校図書館の整理・整頓・清掃等は、各学校の運営において、実施管理しています。 今後も、児童・生徒を中心に教員・職員、ボランティアの方々等の協力を得て衛生管理に努めます。
		学校図書館司書の配置日数を増やすべき。	学校司書については、経験を考慮しつつ、各学校の実情に見合った配置に努めておりますが、学級数が多い小学校等、学校図書館活用の充実に向け、適切な配置を検証していきます。
		本の修理資材・用具器材の購入、ディスプレイ等の製作費の予算を確保してほしい。	各学校では、図書購入や本の修理等の費用を含め、学校予算の範囲で対応しています。いただいたご意見を参考にさせていただきます。
		児童の読書傾向や選書の方向性等について、学校図書館システムで分析したデータを公表してほしい。	各学校にて「貸出が多い本の情報」や「多読者一覧(学年・クラス単位)」等の様々なデータ等を活用・公開することで、児童・生徒の読書意欲の向上を図っていきます。
		学校図書館で、児童の希望を聞いて、本を購入してほしい。	多くの学校が、児童・生徒のリクエストを参考に選書し、購入しています。
		学校内の図書委員会の活動を活発にしてほしい。	各学校の委員会活動が活発になるよう、取り組みに対して支援していきます。
4	大学生等	図書館と大学が気軽に交流できるイベントを行ってほしい。	本計画では、世代を通じた読書・体験活動を図書館で実施し読書活動を支援することにしています。いただいたご意見を参考に、イベントや事業等を企画し実施していきます。
6	高齢者	ネットやパソコン環境のない高齢者のために、朗読CDなどの紙媒体のリストを作してほしい。	いただいたご意見を参考にさせていただきます。

② 基本方針 2 について

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
8	図書館と関係のある団体などとの連携による読書のまちづくり	図書館と大学が気軽に交流できるイベントを行ってほしい。(再掲)	いただいたご意見を参考に、計画に基づいた取組を進めていきます。(再掲)
9	行政連携の拡充	行政連携の拡充とありますが、場所を図書館に限定するのではなく、たとえば市役所の中に閲覧コーナーを作るなど、人の集まるところに気軽に本に触れる場所を設けてはどうか。	これまで、図書館では、保健福祉センター等へリサイクル本を配布するなど、図書館以外の市の施設でも読書に親しめる環境の整備を行ってきました。本計画では、図書館に限定することなく、様々な所管と連携しながら、図書館以外でも、本に触れられる身近な読書環境の整備に取り組んでいきます。

③ 基本方針 3 について

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
10	利用者目線での身近な読書環境の整備	図書館コンシェルジュとは何か。	図書館コンシェルジュサービスは、調べる力をサポートする役割としてはレファレンスサービスと同じですが、受け身であるレファレンスサービスに対し、来館者への声掛けや情報発信などを展開することで、利用の敷居を下げ、だれでも気軽に図書館の機能を利用できるよう支援する、積極的なレファレンスサービスとして考えています。 用語解説に説明を加えます。
		子安市民センター内の地区図書室を分室化してほしい。	図書館では市民の身近な読書環境の整備として、市民センター内の地区図書室の図書館化を地域の方々との協働で進めています。図書館化する地区図書室は、位置や規模、地域との調整等を総合的に判断して決定しています。いただいたご意見は、参考にさせていただきます。

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
11	高齢者サービスの展開	<p>29 頁の、図書館の宅配サービスの拡充について、高齢者あんしん相談センターや居宅介護支援事業所など、高齢者の支援を行う機関への情報提供が有効だと考える。</p> <p>また、サービスの対象を、要支援・要介護認定による要介護度を考慮して決める方法も考えられる。</p>	<p>いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
12・13	<p>障害者サービスの展開</p> <p>多文化サービスの展開</p>	<p>知的障害のある児童・生徒の読書環境の整備や外国籍の日本語を習得できていない児童・生徒の読書支援のため、図書館や学校図書館で LL ブックを充実させてほしい。</p>	<p>図書館では、障害のある方や高齢などにより来館が困難な方向けに障害者サービスを行っています。また、LL ブック※も所蔵していますが、いただいたご意見を参考に、今後も充実させていきます。</p> <p>また、学校図書館では、各校の購入計画に基づき、予算の範囲で図書を購入しており、LL ブックを所有している学校は、小学校で 2 割程度となっています。今後も、各校が必要状況に応じ、整備を進めます。</p> <p>※LL は「やさしく読める」という意味のスウェーデン語の略。「ピクトグラム」と呼ばれる絵文字や写真が多く使われ、文章は全くなかったり、やさしく簡潔な表現で書かれていたりする。元々はスウェーデン語が分からない外国の人や知的障害のある人向けに作られたが、認知症患者や高齢者、読み書き障害（ディスレクシア）のある人といった、読書に困難が伴う人全般に対象が広がっている。</p>

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
12・13	障害者サービスの展開  多文化サービスの展開	障害者向け資料の充実に、マルチメディアデジターを加えてほしい。「多言語資料の充実」だけでなく「外国語を母語とする子どもたちが、母語で楽しめる資料の充実」を加えてほしい。	本計画では、読書バリアフリー法の公布・施行を受け、マルチメディアデジターを含めた障害者向け資料の充実・サービスの充実を目指していきます。  また、多言語資料についても、ユニバーサルデザインの考えに基づき、充実を目指していきます。

④ 共通方針について

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
共通 1	読書のまち八王子を支える人材の育成	図書館司書は、正規の市職員としてほしい。  各図書館に、ボランティアやサークルが活動できる場所を確保してほしい。	本市では、多様な雇用形態の職員（職員・嘱託員・臨時職員）を最適に組み合わせることで、最少の経費で最大の効果をあげる行政運営を実現することとしています。図書館では、司書資格をもつ嘱託員〔令和2年4月からは会計年度任用職員（専門職）〕が、その専門性を発揮し、図書館サービスの充実にあたっています。  また、ボランティアやサークルの活動場所については、研修や講座などの支援を通じて、意見交換をしながら、検討していきます。
		学校図書館ボランティアの活動の評価や人数を増やすための情報発信を。	学校図書館ボランティアは、「教育支援人材バンク」へのご登録を年度当初に各学校にお願いしています。登録に関するお知らせ等は引き続き、情報発信していきます。
共通 2	効果的な情報発信	情報発信を、図書館からだけでなく、市民や団体の双方向でできるよう、ホームページを工夫してほしい。  ホームページ上のおすすめ本リストにすぐアクセスできるようにしてほしい。	いただいたご意見を参考にさせていただきます。

⑤ その他

施策の方向性	項目	意見の概要	市の考え
	計画全体について	蔵書、施設の維持管理、人員配置について、計画に記載がない。	蔵書計画や施設維持、人員配置については、施設や設備の改修・整備などにも関係することから、本計画とは別に計画を作成していきます。
		図書館はとても重要。知の発信は、貸本だけではない。 中核市にふさわしいみらい志向の図書館にしてほしい。	いただいたご意見を参考に、図書館運営に活かしていきます。